

# 削除及び他の指標に変更した成果指標一覧

※現状値：2008(平成20)年度、目標値1：2015(平成27)年度、目標値2：2020(平成32)年度

成果指標名	指標の根拠	主役度	現状値	目標値1	目標値2	算出方法	
<b>1 安全・安心でみんながいきいき暮らすまち</b>							
<b>1-(2) 高齢者や障害者市民も誰もが安心して暮らせるまちをつくります</b>							
困ったときの相談相手がない高齢者の割合	身近な相談や見守り・声掛けによって、地域全体で支援する体制が充実することから、相談相手がない高齢者が減るように、指標として設定する。最終目標値を3%とし、5年後はその中間値を目標とする。	市 民 ★★★ 事業者 ★☆☆ 行 政 ★☆☆	4.6%	3.8%	3%	高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定のためのアンケート調査で、困ったときの相談相手について「誰に相談したらよいかわからない・相談相手がいらない」と答えた人の割合	0.7%まで達成したため、別指標に見直し
<b>1-(3) みんなで支え合って暮らしの安全を守ります</b>							
自主防災組織の結成数	地域防災力の向上をはかる指標として、基盤となる自主防災組織の結成数を設定する。最終目標値を現状の4倍とし、5年後はその中間値を目標とする。	市 民 ★★★ 事業者 ★☆☆ 行 政 ★☆☆	62団体	160団体	240団体	自主防災組織数	地区防災委員会制度への移行により指標を見直し
<b>2 子どもも大人も育つまち</b>							
<b>2-(2) 子どもたちを地域ではぐむまちづくりをめざします</b>							
子どもが参加できる場や機会の数	子どもたちが自主的に参加し活動できる場や機会をつくるのが、子どもの健全育成・自立支援にとって重要であることから、子ども向け講座・イベント数を指標に設定する。前後期で3回ずつ増加することを目標とし、最終目標値を23回とする。	市 民 ★★★ 事業者 ★☆☆ 行 政 ★☆☆	17回	20回	23回	市民団体などの子ども向け講座・イベントの回数	こども会加入率へ見直し
<b>2-(3) 子どもたちの生きる力・つながる力をはぐむ教育を進めます</b>							
学校教育自己診断の実施率	保護者、地域の声を学校運営に生かし、学校教育への信頼を高めることを目標として、保護者、児童・生徒、教職員、管理職を対象としたアンケート調査による学校教育自己診断の実施率を指標に設定する。学校によって実施が隔年、3年ごと、不定期など異なるため実施率は年度により変動するが、最終的には全校で毎年実施することをめざす。	市 民 ★☆☆ 事業者 ☆☆☆ 行 政 ★☆☆	20%	60%	100%	全市立小中学校数に対する学校教育自己診断を実施した学校数の割合	2012年度から100%を達成しているため、別指標へ見直し
<b>3 環境共生さがけのまち</b>							
<b>3-(1) 環境にやさしい生活を進めます</b>							
温室効果ガスの削減率	環境負荷を低減させるための取組状況を示すものとして、温室効果ガスの削減目標値を指標とする。	市 民 ★★★ 事業者 ★★★ 行 政 ★★★	12.3%増	9.5%減	25%減	電気・ガス・燃料などの使用量、廃棄物の焼却量などに排出係数を乗じて換算した、二酸化炭素など温室効果ガス総排出量の1990年(平成2年)に対する増減率	国の基準が変更になったため見直し

成果指標名	指標の根拠	主役度	現状値	目標値1	目標値2	算出方法	
<b>4 「箕面らしさ」を生かすまち</b>							
<b>4-(2) 住まい・まちなみ景観を大切にします</b>							
地区まちづくり計画の数	景観に対する市民の意識高揚を図った結果、市民主体による地区の住環境に関するルールづくりがどの程度進んだかの指標として、地区まちづくり計画の数を設定する。前後期で1割ずつ増加することを目標とし、最終目標値を24件とする。	市民 ★★★ 事業者 ★☆☆ 行政 ★☆☆	20件	22件	24件	市民が自主的につくった地区のまちづくり計画の数	一つの地区で複数の計画を持っていることもあるため、地区数に見直し
<b>4-(4) 新たな魅力創出によって観光・産業を活性化します</b>							
明治の森箕面国定公園の観光客数	観光地としての魅力が上がった結果として、観光客数の増加につながることから、本市を象徴する観光名所を含む明治の森箕面国定公園の観光客数を指標に設定する。前後期で3%ずつ増加することを目標とし、最終目標値を280万人とする。	市民 ★☆☆ 事業者 ★★★ 行政 ★☆☆	266万人	273万人	280万人	環境省自然環境局「自然公園等利用者数調査」による年間利用者数	箕面公園への来訪者に、市内を回遊していただく取組を進めており、その趣旨の指標に見直し
商店街の空き店舗数	商店街の賑わい創出の結果として、商店街の空き店舗数を指標に設定する。前後期で10店舗ずつ減少することを目標とし、最終目標値を20店舗とする。	市民 ★☆☆ 事業者 ★★★ 行政 ★☆☆	40店舗	30店舗	20店舗	18商店街などの空き店舗数	店舗増加数に見直し
市民農園数	市民が農業に親しむ機会の提供、市民の農業への関心を高めることをはかる指標として、市民農園数を設定し、最終目標値を25カ所とする。	市民 ★☆☆ 事業者 ★★★ 行政 ★☆☆	14カ所	20カ所	25カ所	市民農園の数	農業公社の取組に見直しを行い、農業振興の進捗度を測る
<b>4-(5) 都市の魅力高め、誰もが住んでみたいと思うまちをつくりま</b>							
住んでみたい街ランキング(関西圏)	住んでみたい街ランキングは、箕面のブランド力を表す指標として測定しやすく理解であるため、これを指標に設定し、ベスト5を目標とする。	市民 ★☆☆ 事業者 ★☆☆ 行政 ★☆☆	14位	10位	5位	不動産大手8社が運営する新築マンションポータルサイト「メジャーセブン」が実施するマンショントレンド調査「住んでみたい街アンケート(関西圏)」の結果※現状値は2010年	本指標は駅単位であるため全国の指標と同じものに見直し
<b>5 誰もが公共を担い、みんなでつくるまち</b>							
<b>5-(1) 地域コミュニティが元気で住みよい地域をつくりま</b>							
シニア・ナビ紹介件数	地域の新たな担い手となる団塊世代の方々が、地域活動等にかかわっていくことを示す指標として、シニア・ナビを通じて紹介した件数を設定し、最終目標値を540件とする。	市民 ★☆☆ 事業者 ★☆☆ 行政 ★☆☆	0件	270件	540件	シニア・ナビを通じて地域活動等に紹介した件数。2015年度の目標値は、58歳から74歳までの人口推計約27,000人の1%、2020年度は2%に設定	シニア塾に変更
<b>5-(2) 市民活動相互の連携を強化し、公共の担い手をこれまで以上に多様化・多元化します</b>							
みのお市民活動センター利用件数	市民活動を支援する各種ソフト事業の実施による同センターの利便性向上、利用促進の結果として、貸部屋(有料)の年間利用件数を指標に設定し、最終目標値を3,700件とする。	市民 ★☆☆ 事業者 ★☆☆ 行政 ★☆☆	2,918件	3,200件	3,700件	貸部屋(有料)を行っている施設(多目的室1・2、会議室、小会議室、プレイルーム)の年間利用件数。2015年度は稼働率60%、2020年度は稼働率70%を目標とする。(稼働率100%で5,325件)	行政の取組でないため削除
NPO協働事業数(委託・指定管理)	市民と行政の協働によるまちづくりの推進をはかる指標として、市が市内のNPOに委託または指定管理した事業数を設定し、最終目標値を50事業とする。	市民 ★☆☆ 事業者 ★☆☆ 行政 ★☆☆	34事業	45事業	50事業	NPOと協働で実施する事業の数(委託・指定管理)	達成済みのため見直し
市民活動センター相談件数(ネットワーク関係)	多様な主体のネットワークの広がりを目指す指標として、ネットワーク関係の市民活動センターに寄せられる相談件数を設定し、最終目標値を250件とする。	市民 ★☆☆ 事業者 ★☆☆ 行政 ★☆☆	217件	225件	250件	市民活動センターにおけるネットワークに関する相談の件数	相談できる箇所や場が増えており、本指標ですべては測れない
<b>5-(3) 行政は市民とともに無駄のない経営を進め、健全な財政を次世代に継承します</b>							
経常収支比率(臨時財政対策債を除く経常収支比率)	経常収支比率は、人件費、扶助費、公債費の義務的経費などの経常的経費に市税などの経常的に収入される一般財源が、どの程度の割合で充当されているかを示すもので、2013年度に緊急プランで想定している100%以下を達成した上で、2020年度には更に、5%下回る95%とし、その中間年度である2015年度については、その中間値である98%の設定とする。	市民 ★☆☆ 事業者 ★☆☆ 行政 ★☆☆	105.5%	98%	95%	経常経費充当一般財源/経常一般財源等×100	交付税制度の改正により、臨財債の発行が交付団体のみとなり、完全に普通交付税の振替分となったが、現指標は臨財債が廃止されることを前提としており、現在の情勢にそぐわないため指標を見直し